ボランティア活動を通して学んだこと

加賀　裕子
横浜市立寺尾中学校
職　種：理数科教師
派遣国：カンボジア
派遣先：バッタンバン中等教員養成学校

中等教員養成学校（RTTC）バッタンバン校

- 中学校教員養成のための学校
- 2年制
- 創立　1984年

2008年2月現在の状況
- 教官数　53名(男性33名、女性20名)
  (理数科教官　11　数学2（校長含む）、物理2、化学2、生物4、地球科学1)
- クラス数　1年生　14クラス
  2年生　14クラス
- 生徒
  地域（州）　周辺の6つの州から募集、入試選抜後入学
  生徒数　1年生367名（男性189名、女性178名）
  2年生371名（男性173名、女性198名）
  年齢層　17歳～30歳位

要請内容

- 中等教員養成学校で物理、化学、生物、地学の実験を担当する。
- 教官向けの学習会を開催する。
- 地元で手に入るものを使ってできるように実験方法を改善する。

活動目標

中等教員養成学校（RTTC）の教官や生徒とともに実験を行い、その考え方をともに学ぶ

目標の設定の過程

・校長や職場の同僚と相談しながら設定していく。
・配属先のニーズや教官たちの特徴をよくとらえて行う。
・目標の設定は短期間で結果を残そうとするのではなく、長い目で見て行う。

目標達成のための活動

活動予定（2007年2月）	活動結果（2008年3月）
学校見学	小学校から大学までの見学
化学実験室他　整理	廃液処理、薬品整理、実験室内整理
学生実験のサポート	化学、生物、地球科学
教官との実験	化学、生物、地球科学
自分で実験書を作成	基本的には教官自身が作成
他JOCVのいるRTTCでのワークショップ	3箇所のRTTCで他の理数科隊員とともに行った
	VVOB（ベルギーの団体）の定期講習会への参加
	地元の中学校教員向けに実験講習会の企画、運営

主な同僚（カウンターパート？）

任期（1年8ヶ月間）の経過

赴任当初（2006年8月）

クメール語（カンボジア語）でのコミュニケーションに苦戦。英語ができる人との会話が中心。授業に参加したり、家庭教師をつけ、活動開始。

2ヶ月目（2006年9月）

小学校教員（小学校の教員が中学校の教員の免許を取るための特別講習会が開かれており、そのときの生徒）に向けて、初めて実験の授業をする。

3ヶ月目（2006年10月）

化学実験室の使用済み溶液の処理開始

地球科学科教官Cと出会う

4ヶ月目（2006年11月）

化学実験が定期的に授業に入り、化学科教官Aと毎週のように予備実験と生徒実験を繰り返す

5ヶ月目（2006年12月）

他の地域のRTTCでのワークショップ（化学）の手伝い

6ヶ月目（2007年1月）

化学実験が定期的に入らなくなる

7ヶ月目（2007年2月）

教育実習（2年生）開始。教官たちと一緒に見学に回る

8ヶ月目（2007年3月）

化学科教官Bに週1回の実験を提案するが、実現せず

10ヶ月目（2007年5月）

2年生教育実習を終え、通常の授業に戻る

1年生教育実習へ

JOCV 理数科隊員で4つのRTTCを巡回。

3校で化学の実験を教官とともに行う

11ヶ月目（2007年6月）
化学実験が再び定期的に入るようになる

2年生　卒業制作開始

VVOBの定期講習会に実験助手として参加

12ヶ月目（2007年7月）
化学科実験室の整理開始
方針変更（実験書の作成について）

13ヶ月目（2007年8月）
小学校教員が中学校教員の資格を得るための講習会、再び始まる（9月まで）
14ヶ月目（2007年9月）
方針変更（短時間でできる実験もやる）
自分の中の重点項目に気づく
15ヶ月目（2007年10月）
VVOBの生徒向け講習会　補助
16ヶ月目（2007年11月）
定期的に化学実験が入る。生物実験の補助回数増える。

17ヶ月目（2007年12月）
2名の教官（数学科1名と地球科学科教官C）日本での2週間の研修へ。カンボジアへ帰国後、地球科学科の実験増える。
化学科教官に中学校教員向け実験講習会の提案

18ヶ月目（2008年1月）
中学校教員向け化学実験講習会　開始
地球科学科C教官との作業の時間が増える
20ヶ月目（2008年3月）
中学校教員向け化学実験講習会（3回目）終了

任期終了

活動に際し、重点を置いたこと

- 人間関係を築くこと
  - 授業に参加すること
  - 笑顔でいること
  - 良いと思ったら言葉にすること
  - 一緒にやって一緒に考えること
  - 相手のペースを大事にすること
  - 一度にひとつのことを話すこと
- 何でもやってみる、話してみる、聞いてみること
- 同じ学校に所属する4つの国の団体をはじめ、いろいろな人たちとよくコミュニケーションをとること
- いろいろな人に意見を求めること
- 長期的な視野の中での「今」をみること

自分の中の変化

・いろいろな価値観を持った人たちから意見を聞くようになった
・解決策をいくつも考え、その中から状況に応じて方法を選ぶようになった

・相手のペースで活動できるようになった
・人に物事を頼めるようになった

・クメール人（カンボジア人）をはじめとする自分を取り囲む人たちのありがたさやすばらしさを実感し、いつも言葉で表現するようになった

・「まあいっか」と細かいことを気にしなくなった
・ぼーっとしたり、のんびりとおしゃべりする時間を楽しめるようになった

同僚（職場の仲間）の変化

忙しいときでも時間をくれるようになった
特に何もなくてもとりあえず顔を見せてくれるようになった
その人には全く関係のないことでも手伝ってくれるようになった

教官が自主的に教材開発をするようになった
教官間のコミュニケーションが増えた
実験後の片付けを最後までやるようになった
実験室の鍵を教官ほぼ全員がもつようになった
（自分の好きな時間に実験室を使えるようになった）

2年間で学んだこと

- 人の心の温かさ、豊かさ
- 感謝と協力
- 計画を実行していくことの楽しさ
- 建設的な考え方、多角的なものの見方
- 柔軟性とバランス
- 国民性より個人の特性
- 本当に大事なことは何か

今、そしてこれから

- 目的意識を持つこと
- 授業方法
- クラス経営
- AET（Assistant English Teacher）との協力
- 「今」から学べること
- 幅広い視野で学び続けること
- 一人の日本人として

ありがとうございました